

「建設業の振興、建設労働者・職人の仕事と生活を守ってほしい」幸山市長へ要請

「3か月間仕事がない」「あとは生活保護しかない…」

収入の激減や相次ぐ倒産などで、深刻な影響を受けている建設業界。こうしたなか、10月19日、熊本県建設労働組合は、幸山市長に対して、地場企業への仕事の発注の促進、労働者・職人への適正な賃金の確保などを求め要請を行いました。

「3ヶ月間も仕事がない」「ハロー

ワークに行っても仕事に就けない」「子どもを学校に行かせられなくなった」など、深刻な実態が伝えられました。

市からは建築部長をはじめ、教育施設課、契約検査室、商業労政課等が対応。要請には、共産党熊本市議団も参加しました。

主な要望項目は以下の通りです。

【地元業者への発注を増やし、地場建設業の振興を図ること】

●市民生活に直結する公共施設・学校・医療機関、住宅等の施設整備をすすめ、地元業者への発注をふやすこと。

●各地で経済効果をあげている住宅リフォーム助成制度を実施すること。

●小規模修繕登録制度の取り組みをすすめ、業者の仕事を増やすこと。



小規模修繕登録制度とは…

市が発注する小規模な（30万円以下）修繕について希望する業者に登録していただき、発注の対象とし、地元業者への受注機会を増やすとともに、地域経済の活性化を図ることを目的として実施されています。これまでの要請や職員の取り組みにより、09年度は件数、金額とも大きく増加し、業者に喜ばれています。

	発注件数	発注金額
05年度	80	555万円
06年度	165	1026万円
07年度	142	1469万円
08年度	171	1289万円
09年8月末	369	1630万円

日本共産党 市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団

ますだ牧子 上野みえこ なすまどか

熊本市手取本町1-1 議会棟3階

NO 682

2009年10月25日

電話 328-2656

FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

HP：http://www5.ocn.ne.jp/~kumamsu/

【下請け・労働者への適正な単価と賃金を保障する入札・契約制度のさらなる改善を】

●建設労働者・職人の生活が保障される適正な予定価格で発注すると同時に、適正な賃金が支払われるよう元請け業者へ指導を徹底すること。

●千葉県野田市が採択した公共事業・調達における公契約条例を制定すること。

「公契約条例」とは？

野田市では、市が発注する公共工事や委託業務に従事する労働者の賃金水準を守るため、最低賃金を市が独自に設定する条例を制定。市が定める賃金が支払われない場合は契約を解除でき、事業者名を公表するとともに、市に損害が生じた場合、損害賠償を求める等が規定されています。

共産党としても、9月議会的那須議員の一般質問において公契約条例の制定を求めました。

舗装のはがれ、カーブミラーの設置、側溝の整備などなど 道路・河川・公園などについて要請を行います

だれでも参加できます。みなさんの要望をぜひお寄せください。

日時：11月4日（水）午後2時～

場所：市役所10階会議室

※1週間前までに要望を寄せていただければ、当日は対応も含めた回答があります。

（控室から）

人生に乾杯！

益田牧子

小学校時代の一泊「還暦同窓会」に出席しました。中学卒業以来、実に四〇数年ぶりの再会。「〇〇ちゃん」とお互いに呼び合い、童心に返りました。「テレビ見ているよ」と何人からも声をかけられ、党派を超えて、応援してくれる同級生に励まされました。同室の女性達で盛り上がった話題は、私自身も、満額でも十万円に満たない年金額通知に愕然とした低い年金・低い賃金で働いている介護現場の実態など。

老後の暮らしは、何処も同じ。ハンガリー映画「人生に乾杯！」は衝撃的。なんと、「年金では暮らせない」と紳士的な老人銀行ギャングを實行、高齢者の共感を広げること…。日本の高齢者も、一〇月一五日には、最低保障年金の実現、後期高齢者医療制度の廃止などを求めている年金者一揆。

新しい政権に向けて、「安心して老後を暮らせる社会を！」要求する声が全国で湧きあがりました。悔いなく「人生に乾杯！」と言えるように、高齢者予備軍の私たちも、元気に頑張りたいものです。